平成２３年度

科目名	社会科学Ⅱ Social ScienceⅡ			担当教員	行本　勢基 （窓口教員：権藤 典明）		
学　年	５年	学　期	通年	科目番号	07124	単位数	2
分　野	一般	授業形式	講義	履修条件	選択		

学習目標	経営学を体系的に理解し、実際の企業活動と結び付けて考えられること。
進め方	パワーポイントのスライドと板書によって講義を行う。スライドの印刷、配布は基本的に行わないが、学生の要望があれば検討する。

学習内容	学習項目（時間数）	合格判定水準
	１．経営学とは何か(8) (1) 経済学と経営学 (2) 経営学の体系・方法論 ２．組織論(8) (1) 組織論の基礎 (2) ミクロ・マクロの組織論	経済学と経営学の違いを説明できる。 経営学を構成する３つの理論体系（組織論、管理論、戦略論）と３名の研究者・実務家の貢献を説明できる。
	３．組織構造(8) (1) 組織構造の構築 (2) 実際の組織構造（日本的経営） ４．組織論の発展(8) (1) 組織と環境 (2) 知識管理・知識創造	各組織構造の特徴と情報の流れを説明できる。 組織構造の変化と環境の関連性を指摘することができる。
	前期末試験	
	５．戦略論入門(8) (1) 戦略とドメイン (2) 戦略論の体系 ６．経営戦略とイノベーション(8) (1) 大企業の多角化と経営戦略 (2) イノベーション・マネジメント	戦略とドメインの違いを説明できる。 多角化を含む経営戦略、プロダクトライフサイクル、需要の価格弾力性の関連性を指摘することができる。
	７．国際経営（8） (1) 多国籍企業 (2) 海外直接投資と国際化戦略 ８．財務と情報（8） (1) 資本コスト (2) 割引現在価値と内部収益率	多国籍企業、海外直接投資の定義を理解し、様々な国際化戦略について具体的に説明できる。 新規事業投資の回収について、割引現在価値と内部収益率の関係を説明できる。
	後期末試験	

評価方法	中間レポート：４０点（４回提出、一回あたり１０点） 期末試験：６０点
学習・教育目標との関係	建設工学コースの学習・教育目標（A-1）広い視野（倫理）に該当する、必修得科目である。
関連科目	公民Ⅰ（２年）　→公民Ⅱ（３年）　→社会科学Ⅱ（５年）
教　材	洞口治夫・行本勢基　『入門・経営学―はじめて学ぶ人のために―』(2008 年、同友館) その他、講義の進捗に合わせて適宜、資料を配布する。
備　考	経営学に関する予備知識は全く必要ないが、高い学習意欲と相応の作業が求められる。履修前に、十分にその点を留意した上で受講されたい。